



梅の香りで
発情する性癖を
持った恋人

体の関係だけで
始まったこの恋が
実って



晴れて結ばれて
2人は人生を共に
歩むことになる



筈だった



家業の
海苔養殖の
朝は早い

あーやつて
らんねえ！



木下茂次郎
通称「梅さん」
(俺が勝手に
呼び始めただけ)

梅さんが
ある日言った

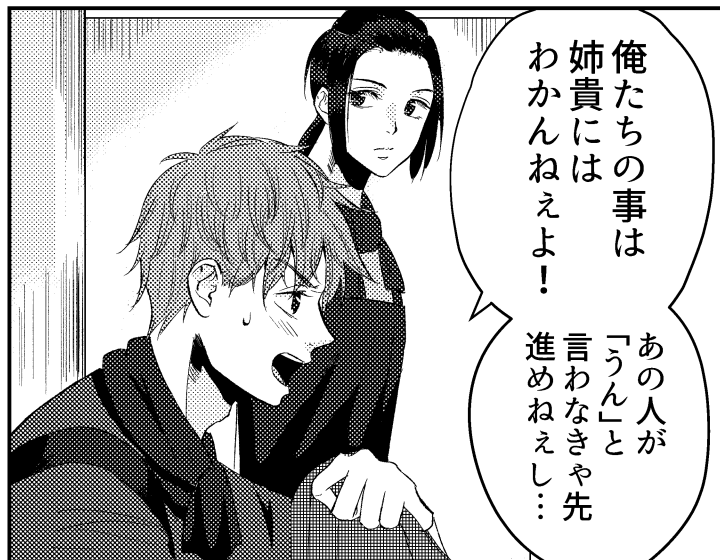


新しいバイトを
雇おうと思っ
てるんだよ

そのせいで
恋人に会う暇もない







俺たちの事は
姉貴には
わかんねえよ！
あの人が
「うん」と
言わなきゃ先
進めねえし！



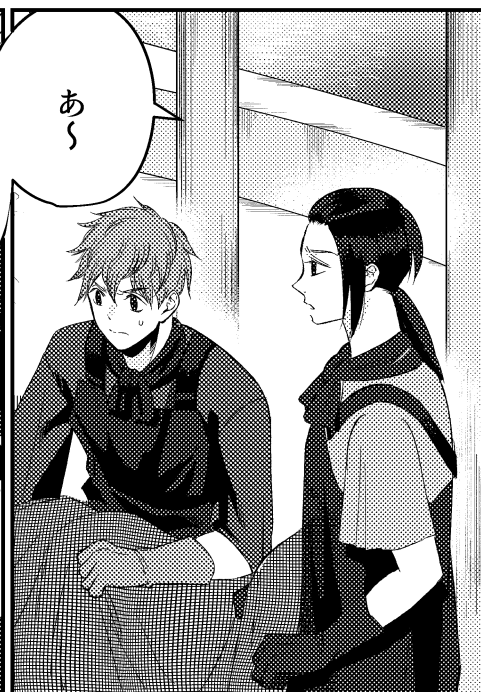
片手間で海苔
やる位だったら
梅の仕事本腰
入れりゃ良い
だろう



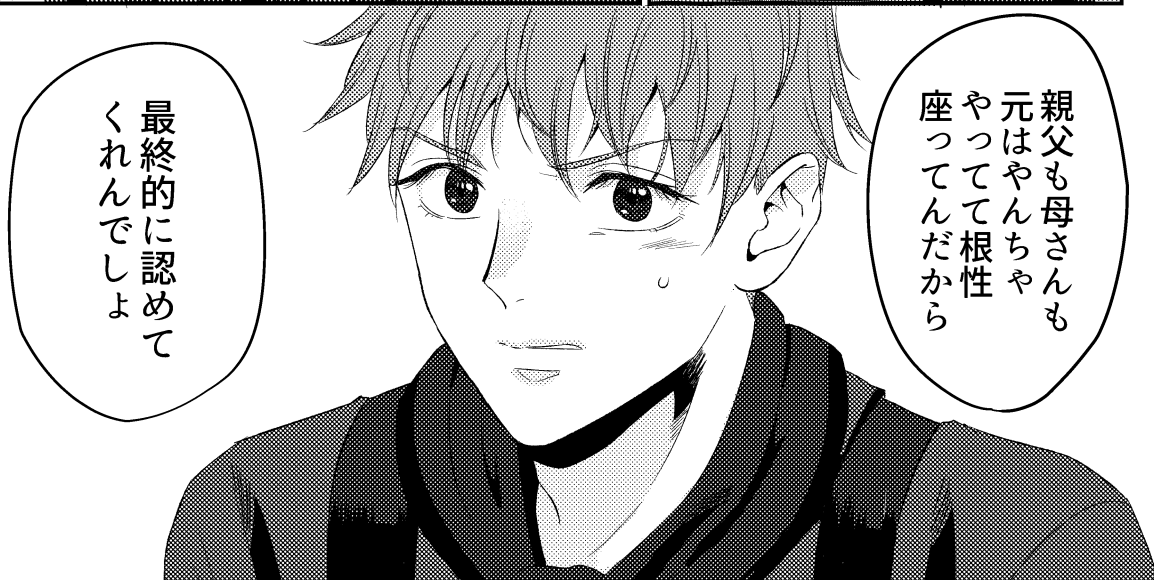
お見通しかよ！
腹立つわ！

アンタの事だ
どうせ余計な事
言って自分の首
絞めてんだろ

養子の事は
アタシから親父に
話つけてやるよ

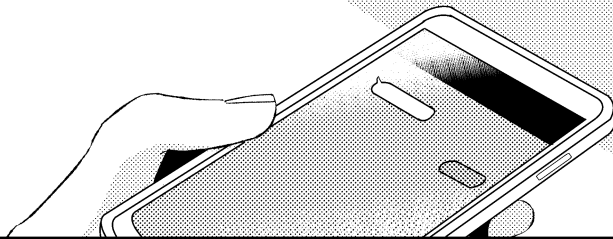
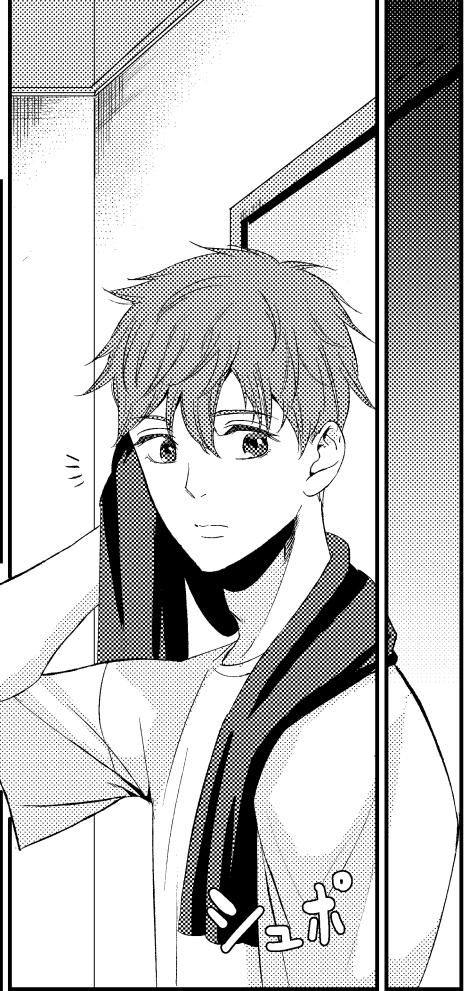
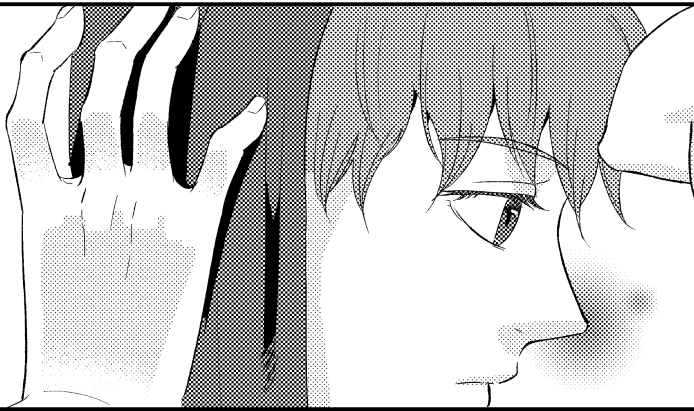
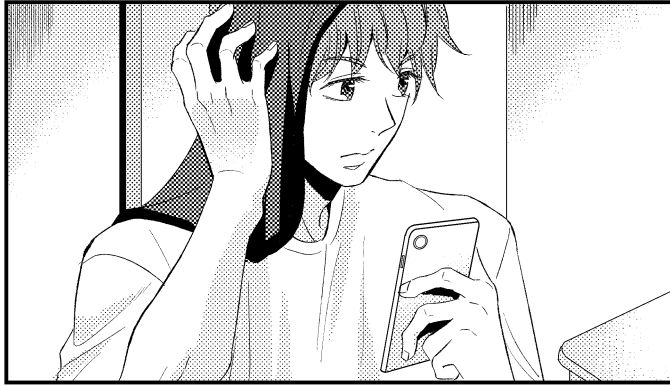


あゝ



最終的に認めて
くれんでしょ

親父も母さんも
元はやんちゃ
やってて根性
座ってんだから



会いてえな…

糞ダセエ…

いや俺は
会えない事に
根をあげた
訳じゃねえし…

ー結局来ち
まってやんの

あ

何か思い出し
ムカつきして来た

浮気前科持ち

寂しいと梅さんすぐ
グラつくからこれは
抜き打ち訪問であり…

